

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）  
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-210-1 発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料）

《参考》柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
KK7 補足-014 工事計画に係る説明資料（その他発電用原子炉の附属設備のうち火災防護設備）  1-1. 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統 1-2. 火災区域の配置を明示した図面 1-3. 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について	補足 300-1 発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料 火災防護について  1. 基本事項に係るもの 1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統 1-2 火災区域の配置を明示した図面 1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について	補足-210-1 発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料  1. 基本事項に係るもの 1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統 1-2 火災区域の配置を明示した図面 1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について	資料構成の相違
2-1. 潤滑油及び燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について 2-2. 保温材の使用状況について 2-3. 建屋内装材の使用状況について 2-4. 難燃ケーブルの使用について  2-5. 水素の蓄積防止について	2. 火災の発生防止に係るもの 2-1 潤滑油又は燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について 2-2 保温材の使用状況について 2-3 建屋内装材の不燃性について 2-4 難燃ケーブルの使用について 2-5 屋外の重大事故等対処施設の竜巻による火災の発生防止対策について 2-6 水素の蓄積防止対策について	2. 火災の発生防止に係るもの 2-1 潤滑油および燃料油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度について 2-2 保温材の使用状況について 2-3 建屋内装材の使用状況について 2-4 難燃ケーブルの使用について  2-5 水素の蓄積防止対策について	設備構成の相違（女川2号では建屋内に設置）
3-1. 二酸化炭素消火設備について 3-2. 小空間固定式消火設備について 3-3. SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備について 3-4. 電源盤・制御盤消火設備について 3-5. ケーブルトレイ消火設備について 3-6. 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備について 3-7. 5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備について 3-8. 消火用の照明器具の配置図	3. 火災の感知及び消火に係るもの 3-1 ガス消火設備について 3-2 二酸化炭素自動消火設備（全域）について  3-3 消火用の照明器具の配置図 3-4 常設代替高圧電源装置を設置する火災区域の消火設備について  3-5 電動機駆動消火ポンプ、構内消火用ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ及びディーゼル駆動構内消火ポンプの構造図 3-6 電動機駆動消火ポンプ、構内消火用ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ及びディーゼル駆動構内消火ポンプのQHカーブ	3. 火災の感知および消火に係るもの 3-1 ガス消火設備について  3-2 消火用の照明器具の配置図  3-3 電動機駆動消火ポンプ、屋外消火系電動機駆動消火ポンプ、屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの構造図 3-4 電動機駆動消火ポンプ、屋外消火系電動機駆動消火ポンプ、屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプのQHカーブ	設備構成の相違（女川2号は安全機器を設置する区画に対しCO2消火設備を使用しない）  設備構成の相違（設備配置） 設備名称の相違 設備名称の相違



赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

■：前回提出時からの変更箇所

2021年4月1日

02-補-E-12-0001\_改1

先行審査プラントの記載との比較表（補足-210-1 発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料）

《参考》柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	<p>5. 非難燃ケーブル対応に係るもの</p> <p>5-1 防火シートの基本性能について</p> <p>5-2 防火シート及び結束ベルトの標準施工方法</p> <p>5-3 ファイアストップパの施工方法</p> <p>5-4 耐火シールの性能について</p> <p>5-5 発電所で使用する非難燃ケーブルの種類</p> <p>5-6 発電所で使用する非難燃ケーブルの詳細</p> <p>5-7 ケーブルの燃焼メカニズム</p> <p>5-8 ケーブルの使用期間による経年変化</p> <p>5-9 発電所を代表する非難燃ケーブルの抽出結果のまとめ</p> <p>5-10 試験対象ケーブルの詳細</p> <p>5-11 ケーブル種類毎の性能確認方法と確認結果</p> <p>5-12 供試体の仕様と試験条件設定の考え方</p> <p>5-13 実機火災荷重を考慮した防火シートの限界性能試験</p> <p>5-14 防火シート重ね部の遮炎性試験</p> <p>5-15 耐延焼性実証試験条件</p> <p>5-16 損傷長の判定方法</p> <p>5-17 複合体の構成品の組合せによる耐延焼性の確認</p> <p>5-18 加熱熱量の違いによる性能比較評価の確認方法</p> <p>5-19 バーナ加熱熱量を変化させた垂直トレイ燃焼試験</p> <p>5-20 過電流によるケーブルの燃焼プロセス</p> <p>5-21 複合体内部ケーブルの自己消火性の実証試験</p> <p>5-22 トレイの設置方向による延焼性の確認結果</p> <p>5-23 延焼の可能性のあるトレイ設置方向への対応の実証試験</p> <p>5-24 過電流模擬試験による防火シート健全性評価</p> <p>5-25 複合体が不完全な場合の難燃性能の確認</p> <p>5-26 複合体による影響の確認</p> <p>5-27 複合体の性能確保の考え方</p> <p>5-28 非難燃ケーブル対応に関する設置許可から維持管理に至る各段階での実施内容について</p> <p>5-29 非難燃ケーブルへの防火措置に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について</p> <p>5-30 難燃ケーブルへの取替対象及び複合体の対象について</p>		<p>設備の相違（女川では非難燃ケーブル複合体は使用しない）</p>
<p>5-1. 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画書に定め管理する事項について</p>	<p>6. 火災防護計画に係るもの</p> <p>6-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画に定め管理する事項について</p>	<p>5. 火災防護計画に係るもの</p> <p>5-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画に定め管理する事項について</p>	<p>資料構成の相違</p> <p>資料構成の相違</p>